

## 後向き観察研究用

### 本院患者さんへの情報公開文書

「炎症性腸疾患の病態解明と治療法確立に向けた

北海道多施設共同後ろ向きコホート研究

フェニックス コホート レトロスペクティブ スタディ  
Phoenix Cohort -Retrospective Study-

についてのご説明

第1版作成 2018年 8月 22日

第2版作成 2019年 6月 18日

第3版作成 2019年 10月 25日

第4版作成 2020年 5月 25日

第5版作成 2020年 9月 11日

第6版作成 2021年 5月 21日

## 1. はじめに

炎症性腸疾患は主に潰瘍性大腸炎とクローン病の2つの疾患を意味する、難治性の腸炎です。原因は明らかとなっておらず、根治的な治療法についても定まったものではありません。よって、その病態の解明と治療法の確立が急務と言えます。

そのためには、大多数のデータの集積から新たな知見を見出し、立証していく過程が必要です。現在、北海道内には多くの炎症性腸疾患患者さんが存在し、病気の専門性から、基幹病院にそのほとんどが通院しているものと考えられます。これらの基幹病院のデータを集約し解析することで、これまで明らかにされて来なかった新たな知見を得る可能性があると考えられます。そこで、札幌医科大学医学部消化器内科学講座を本部とし、炎症性腸疾患の病態解明と治療法確立に向けた北海道多施設共同コホート研究 -Phoenix Cohort- が計画されました。このコホート研究の目的は、北海道の炎症性腸疾患診療基幹病院とされる施設が共同でその患者情報を集積し、新たな診断基準・治療指針を作成することを目的としています。このコホート研究は、前向き研究、後ろ向き研究、コメディカル研究の3つのコホート研究から構成されており、本研究はそのうちの後ろ向き研究を行うものです。

## 2. 研究対象者

各研究施設に通院中または入院中の患者さんで、潰瘍性大腸炎またはクローン病または分類不能型腸炎の診断を受けている方、計2300例（札幌医科大学: 300例、北海道大学: 200例、旭川医科大学: 500例、札幌厚生病院: 500例、札幌徳洲会病院: 300例、札幌東徳洲会病院: 500例）が対象です。

## 3. 研究対象期間

1990年1月1日～2023年6月30日

## 4. 研究内容

対象患者さんの臨床情報（身体状況、治療内容など）を診療録などから調査することで、病態解明への新たな手がかり、治療法などに関わる新たな知見を得ることが出来る可能性があります。また、検討症例数が2000例を超えることから、統計学的に根拠のあるデータになるものと考えられます。なお、この研究を行うことで患者さんに新たな負担が生じること

はありません。よって、この研究に伴う患者さんへの報酬もありません。

## 5. 利用する情報

カルテ情報：臨床所見（年齢、性別、診断名、発症日、罹患期間、臨床病期、臨床的重症度、治療内容、投薬内容、投薬期間、転帰など）、血液検査所見（白血球、赤血球、ヘモグロビン、血小板、グルコース、Na、K、Cl、Ca、クレアチニン、BUN、尿酸、アルブミン、ALP、ALT、AST、LDH、総ビリルビン、直接ビリルビン、総蛋白、CRP、凝固能、各種腫瘍マーカーなど）、病理組織所見、抗体製剤の血中濃度など

画像検査情報：X線写真、CT、MRI、超音波、内視鏡検査など

## 6. 医学上の貢献

本研究により、大多数のデータの集積から新たな知見を見出すことで、新たな診断基準・治療指針の作成につながる可能性があります。

## 7. 個人情報の管理について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、暗号化などの厳重な対策を行っております。本研究の実施過程および結果の公表（学会や論文など）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

また、本研究で得られた対象患者さんの情報等は、グループ代表者、研究責任者および施設責任者の合意のうえ、二次利用を認めた場合を除いて本研究目的以外に使用しません。

## 8. 患者さんがこの研究に情報を提供したくない場合の手続きについて

この研究にデータを提供したくない方は、下記まで御連絡下さい。あなたに関わる研究結果は破棄され、診療録などもそれ以降は、研究目的に用いられることはありません。

ただし、御連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究への参加をとりやめることが出来なくなります。

## 9. 研究期間

病院長承認日～西暦2023年12月31日

## 10. 研究実施体制

本学における研究責任者

旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（消化器・内視鏡部門）  
教授 藤谷 幹浩

グループ代表者・研究責任者

札幌医科大学 医学部 消化器内科学講座 教授 仲瀬 裕志

研究分担者・データ管理代表者

札幌医科大学 医学部 医療統計学講座 教授 樋之津 史郎

研究分担者

札幌医科大学 医学部 南檜山地域医療教育学講座 特任助教 平山 大輔

研究協力者

恵佑会札幌病院 腫瘍内科 医師 川上 賢太郎

札幌医科大学 医学部 消化器内科学講座 助教 我妻 康平

共同研究施設、施設責任者

北海道大学内科学講座消化器内科学分野 助教 桂田 武彦

旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（消化器・内視鏡部門）  
教授 藤谷 幹浩

札幌厚生病院消化器内科（IBDセンター） センター長 本谷 聡

札幌徳洲会病院 IBD センター センター長 蘆田 知史

札幌東徳洲会病院 IBD センター センター長 前本 篤男

札幌 IBD クリニック 院長 田中 浩紀

旭川医科大学病院病理部 教授 谷野 美智枝

京都大学 薬学研究科 准教授 米澤 淳

## 11. 研究資金について

本研究においては、田辺三菱製薬株式会社およびヤンセンファーマ株式会社、アッヴィ合同会社および持田製薬株式会社と研究契約を締結し、研究責任者が所属する診療科の研究資金と各社の研究資金で実施されます。この研究に関わる研究者は、ヤンセンファーマ株式会社から受託研究費（治験）の受入及び謝金の受領、アッヴィ合同会社から受託研究費（治験）の受入及び寄附金・謝金の受領があります。しかし、意図的に企業に都合の良い成績となるよう導いたりすることはありません。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、本研究の企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。

## 12. 問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

旭川医科大学研究責任者：

旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（消化器内視鏡学部門） 教授 藤谷幹浩

研究窓口：

旭川医科大学地域医療支援および専門医育成推進講座 特任講師 上野伸展

旭川医科大学病院 内科（代謝・免疫・消化器・血液） 助教 安藤勝祥

平日連絡先（午前9時～午後17時）

旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野教室（旧第三内科）

〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL:0166-68-2462, FAX:0166-68-2469

研究代表施設の照会先

平日日中

札幌医科大学 消化器内科学講座 教室

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

TEL:011-611-2111 (内線32110)

FAX:011-611-2282 (直通)

夜間・休日

札幌医科大学附属病院 西9階病棟（消化器内科病棟）

TEL:011-611-2111 (内線39460)